

令和2年度  
学校関係者評価報告書

学校法人 江楠学園 佐賀工業専門学校

## 1. 学校関係者評価の目的

学校法人江楠学園佐賀工業専門学校における学校関係者評価は平成19年に学校教育法及び学校教育法施行規則の改正により、自己評価、学校関係者評価の実施・公表、評価結果の設置者への報告に関する規程が新たに設けられたことを受け「専修学校における学校評価ガイドライン」に沿って以下のことを目的として実施する。

- ① 自己点検評価の評価結果について、学校外の関係者による評価を行い、自己点検評価結果の客観性・透明性と併せて信頼度を高める。
- ② 学生・卒業生、関係業界、中学校・高等学校、保護者・地域住民、所轄官庁・自治体の関係部局など、専修学校と密接に関係する方々からの理解促進や連携協力による学校運営の改善を図る。

## 2. 学校関係者評価委員の構成

学校評価委員は、以下の人員で構成する。

- ・ 関連業界等関係者 5名
- ・ 教育に関し知見を有する者 1名
- ・ 卒業生 1名

## 3. 学校関係者評価の実施方法

新型コロナウイルス感染症による感染拡大防止の観点と県境をまたぐ移動の制限併せて各委員の皆様  
の安全を優先し、各委員の皆様には、昨年同様に事前に使送・郵送で配布した報告書並びに本  
校のホームページ上で公開されている学校情報等で理解を深めていただいたうえで、令和2年  
度自己評価結果をもとに7月末までにご意見を収集した。これをもって委員会の代替えとし、  
以下のとおり意見の取りまとめを行った。

## 4. 学校関係者評価委員からの意見並びに特記事項

### (1) 教育理念・目標

委員からの意見

- ・ 責任感旺盛な人材の養成とは具体的にどのようなことか

※実習並びに清掃等あらゆる機会において積極性と最後までやりきる責任感の醸成を図る  
取り組みを行っている。

- ・ 学校の将来像について学校の方向性を早期に検討していく必要があるのではないか。

※本校設置学科に対する業界団体からのニーズと相反する希望者の減少という問題とコロ  
ナ禍が追い打ちを掛けている厳しい環境をいかに脱却するかが課題となる。

- ・ 教育目標の根幹をなす【建学の精神】は貴校の理念であり、素晴らしい教育哲学である  
と感じています。全生徒とその保護者が共有すべき意識、価値観、考え方なので100%

認知を目指すことが必要です。哲学を身に宿し、能力や熱意とともに人間として正しい考え方を持つ人材に育てて頂きたい。

※現状、学校行事のあらゆる機会に周知を図っている。具体的な取り組みとして学生手帳表紙裏面に記載をした。また、在校生には「建学の精神」の意味するところ及び具現化する心構えについてレポート提出にて理解度の把握を行った。在校生については理解をしていた。

・整備士試験合格100%、就職率100%の実績は、貴校の教育目標であり、且つ理念に合致したものと評価に値する。

※究極の目標であり、今後も引き続き継続できるよう教職員一丸となり取り組んでいく。

・自動車学科において目標である二級自動車整備士100%合格の連続年数を更新されたことは非常に素晴らしい。学生の頑張りのもとより、先生方のきめ細かいご指導によるものと思います。

※少人数制の利点であり個々の学生への指導を更に綿密に行って継続する。

・今後も日々進歩する技術に対応できる人材の育成を企業との連携等を有効に活用しながら日頃の教育活動お願い致します。

※職業実践専門課程の特色活かし、最新の実務の習得に遅滞の無いよう連携企業と密接な関係を維持していく。

#### 特記事項

・自動車学科においては、内燃機関から電気・水素に大きくシフトする転換期を見据えた変化に対応するためにも職業実践専門課程の特色を活かし関係業界団体・企業との連携を図り最新の実務を修得させる必要がある。また、令和2年度からスタートした特定整備制度の施行に伴う認定要件を満たし認定を取得し教育に反映させている。

・エアポートサービス学科においては、座学と実習（校内、校外現地空港での実践実習）の充実を図る。併せて採用試験に向けて早期に試験対策を取り入れ就職内定を確定させる。

・育成人材像については、社会人としてだけでなく採用企業が求める人材像を把握し、必要なカリキュラムの充実を図っていく。

・学校理念等の周知については、保護者並びに学生にも周知を徹底させるとともにその理念に基づく主旨を理解いただき人間形成の指針となるよう周知に努めていく。併せてその理解度の把握にも取り組んでいく。

#### (2) 学校運営

委員からの意見

・引き続きHP・SNS等による情報発信は必要

※校内での行事についてはこれまで同様タイムリーな情報発信に心掛けていく。

- ・学生が来てくれるための事業計画の視点に立って前例にとられる事なく抜本的な見直しも必要となると考えるが

※待ち受けから脱却し、積極的な働きかけアプローチ型にシフトする。

- ・業界への憧れや想いを想像することが貴校躍進の鍵となります。弊グループは YouTube にて企業イメージの配信・更新を行っており、動画に卒業生メッセージを取り込む等、メディアコラボすることでアピール向上が図られるものと推察いたします。

※佐賀県とのコラボによる YouTube の作成については、昨年に続き令和3年度も作成予定である。

- ・情報発信の一環として、ホームページを活用されており、キャンパスライフや卒業生の声等の掲載、第三者の学校評価の公開は入学希望者にとって、進路決定の道程となり評価に値する。

※内容のワンパターン化に陥ることなく、分かり易く・興味を抱く内容のものに作り上げていく。

- ・自動車学科への令和3年度入学数は深刻な状況と見ますし、採用する企業側としても危惧しております。その中で、二級自動車整備士9年連続100%合格は他校では例を見ないこと。運営面、学生募集において学校の強みとしてアピールできます。ホームページの「国家資格の合格率は100%を継続中！」を掲載し続けて頂きたいです。

※ご指摘・ご提案のとおり周知広報に取り組んでいく。

#### 特記事項

評価項目に添って今後も改善に取り組むとともに教育活動等の積極的な情報公開に努める。

### (3) 教育活動

#### 委員からの意見

- ・実習時やインターンシップ時も学生であることから教育理念に則した学校からの教育も必要

※エアポートサービス学科において、実務研修中の学生の把握は月1回のレポートに合わせて ZOOM 等を利用しての身上把握にも取り組み教育指導を行っていく。

- ・社会が求める人材育成に向けた新しい取り組みもタイムリーに取り入れているか状況を知りたい。高校の学びにも通じるので

※人材育成に時間を有することは言うまでもなく、現状は外部講師を招いての社会人として必要なマナー講習などを在学中1年次は基礎重点、2年次は復習と即実践に役立つ講

座を取り入れ人材育成の一助となるよう講座を取り入れている。

・実学を中心とした教育活動に不足は感じておりません。

※引き続き座学と実習のバランスを考慮し授業計画を確立する。

・一種養成施設として教育課程は明確化しており、その遂行はもとより、それ以上のカリキュラムが実施されていることは評価に値する。

※教育課程の厳格化と不足している処など洗い出し教育の充実に取り組む。

・先進技術システムが広まる中で、教える側の先生方の研修なども必須になってくるかと思えます。研修などへの参加もコロナの状況を考慮しながらとお察ししますが、積極的に習得していただければと思います。

※研修参加の環境が整い次第、業界関係団体・企業の支援を受けながら積極的に研修等には参加させる。

・二級整備士合格率100%を続けられており教育活動については素晴らしいと思えます。

※来年度の10年連続を目指し個別指導の徹底に取り組んでいく。

#### 特記事項

先進技術搭載車（運転支援技術・自動運転技術など）が普及し義務化される環境に対応を求められる中であって整備士養成機関の本校は、教員の知識・スキルの向上に向けた取り組みとして新たな技術に対する知識等の修得に向けた各種研修会等へ積極的に参加させ、学生に対する教育の質を確保する。

#### (4) 学習成果

委員からの意見：

・例えば卒業後定期的に卒業生に対して現状をヒアリングし、在学時を振り返る機会を設けPDCAを具体化すると良いと思えます。

※「Plan,計画」「Do,実行」「Check,評価」「Action,改善」の具現化するためにも、まず卒業生の把握からスタートさせたい。特にエアポートサービス学科の卒業生は関東圏が多く難しくもあるが企業との連携により実現させていけるよう取り組みたい。

・本校の卒業生もお世話になっていますが9年連続の二級整備合格100%達成は素晴らしいの一言です。

※来年度の10年連続を目指し個別指導の徹底に取り組んでいく。

・コロナ禍においては、より丁寧で一手間掛けた活動が学習成果の向上に繋がります。特に卒業生と在校生の意見交換など【生きた情報交換】は双方に有益であり、交流は人と

人を繋ぐ樫となります。保護者の安心にも繋がるのではないのでしょうか。

※企業との連携により、校内企業説明会などでの機会を利用して実現化していきたい。

・整備士試験合格100%、就職率100%の実績は、学習成果として申し分ない。

※来年度の10年連続を目指し個別指導の徹底に取り組んでいく。

・就職率、資格取得率ともに高いレベルを維持されていると考えます。ご父兄のアンケートで自由意見として感謝の言葉が多いのも納得です。実習の際、作業するなど車に触れる機会を漏れなく。

※これまでで培った企業との連携と資格取得に対する指導をさらに向上させ継続を図りたい。また、実習においては、少人数制を徹底し実習経験を豊富にさせることを重視する。

・二級整備士合格率100%を続けられており学習成果については素晴らしいと思います。

※来年度の10年連続を目指し個別指導の徹底に取り組んでいく。

#### 特記事項

卒業生の把握は、卒業生の来校時また会社訪問等の機会を利用し収集し、その情報を職員間で共有する。

#### (5) 学生支援

##### 委員からの意見

・今年度の新入生の状況に鑑み、現状を打開するための多面的な対策が必要と考えます。

※経済的な理由で県立産業技術学院に進む生徒に対し、本校の特色・学院との違いをアピールできる具体的なものを作り上げる。この際、経済的な支援については限界があり、修学支援の新制度認定校としてのメリットについて分かり易いリーフレットなどを作成し周知徹底を図る。

・昨今、経済的な理由により、学業を継続することが困難な学生が多いという社会問題が顕在化しているが、修学支援制度の活用紹介など学生の立場に寄り添った教育体制の構築は評価に値する。

※修学支援の新制度の周知をさらに図っていく必要がある。

・先生方と話していて感心するのが、学生一人一人をよく把握されていること。それ故に各学生にあった指導ができ、資格合格率アップにも繋がっていると思います。学校側の負担が増えるかと思いますが、できれば就職して、長期間は無理でも1年程度卒業生を追跡し、現状を把握されてはと思います。やりがいを感じているか？不満はないか？など、企業と共有することで早期退職を防げないかと考えます。高校などと連携したキャリア教育は高校生の募集に繋がると思うので、連携校を増やすのは良い提案と思います。

※ご提案の追跡調査等を具現化していきたい。また、キャリア教育連携校は拡充を図る。

#### 特記事項

高等学校等との連携によるキャリア教育等については、積極的に実行性のある提案を行い具現化していきたい。

### (6) 教育環境

#### 委員からの意見

・脱炭素化に向けての先進技術習得に向けての環境づくりに遅れが生じないようにお願いします。

※企業からの寄贈により水素燃料電池車の「MIRAI」についての教育も可能となり、これらに必要な工具などの充実により環境づくりの一つとしていく。

・実習教材を活用した教育体制が確立されている点を高く評価しております。グラハン業界はITが加速しているものの、搭降載作業では相変わらず人間の操作技量に頼るところが大きいことから、実習における機材操作の慣熟を期待しております。

※校内での実習に加え佐賀空港内での実践実習に取り組んでおり、さらに充実を図りたい。

・新機構搭載の実習車を使った実技訓練や外部講師を招いた企業連携授業の実施、インターンシップの活用は、評価に値する。

※職業実践課程の特色である企業連携授業でさらに効果を高めたい。

・実習教材を効果的に利用されていると思います。自動車学科において、今後どのような教材が必要となるかご教示ください。

※ベンチエンジンの更新が課題と認識しています。

#### 特記事項

実習教材の更新については計画的・段階的に進めていく。

### (7) 学生募集

#### 委員からの意見

・今年度の新入生に状況に鑑み、現状を打開するための多面的な対策が必要かと考えます。

※同学園内の高等学校には1・2年生次から学校説明・体験授業などの機会を模索する。

・広報活動の一助として、弊グループが配信しているイメージ動画を活用頂きたいところです。

※イメージ動画については、早速活用させていただいています。お礼を申し上げます。

・オープンキャンパスの実施やホームページでの学校生活の紹介など情報発信については、評価に値する。

※現状に満足することなくタイムリーな情報発信に努めていく。

・少子化の影響で対象となる生徒が減っていることに加え、昨年に続き高卒就職率が高い傾向にあると見受けられます。整備専門学校への進学が減ると、販売会社の整備職確保が困難になる。そうなる则ち高校への求人に頼ることになり、専門学校への進学を促進する立場から逆行するというジレンマを感じる。高卒整備職を採用した場合、教育などにかかる負担は増えるため、できれば専門学校卒の採用で補充するのが販売各社としては理想です。学校・販売会社と連携して佐工専への進学を促進する方策が急務と思います。

※人材確保の問題は、学校・企業にとっても死活問題である。業界全体として自動車整備士の魅力を発信していく取り組みが必要である。また、入学者減少の一つの要員でもある高校から直接ディーラーへの就職については、国家資格の有用性をしっかりと発信し即戦力に近い人材として認知されていることを強く広報して続けていく。

・今後の業界の発展のためにも協力して整備士志望者を増やしていきたいと思ひます。

※学校と企業が連携し人材育成の基盤づくりに取り組む具体策を検討する。

#### 特記事項

コロナ禍にあつて対面式ガイダンスの減少など募集を取り巻く環境は依然厳しい。サービス業からの低求人により進学へシフトした生徒に対して本校の魅力を発信出来ていない。引き続き魅力発信事業にも積極的に参画しマスメディア・SNSからの発信に取り組む。また学校訪問の在り方も、従来通りを踏襲するだけでなく変化とポイントを絞った積極的な広報が必要である。

#### (8) 財務

##### 委員からの意見

・次世代の進路選択において航空業界が魅力ある存在であることが必須であり、業界全体で対応すべき課題と認識しております。学校運営や学生募集の項目とリンクさせ、コロナ禍において実効性のある打ち手を検討していきましょう。

※昨今のコロナ禍にあつても空港業界を目指す生徒は多い。その憧れや魅力を衰退させないためにも、まずは新型コロナウイルス感染症の早期終息を願うばかりです。

・健全経営で評価に値する。

・評価項目の中長期的財政基盤の安定のみ「3」評価は、定員充足率の不足からくるとお察ししますが、募集活動にも直結する重要課題であると認識します。



※財務基盤は安定した**高**充足率の維持と認識している。すべては募集活動の成否にかかっている。

#### 特記事項

情報公開・監査等は適切に行われている。財務基盤を盤石にするため定員の充足率向上が大きな課題である。

### (9) 法令等の順守

#### 委員からの意見

- ・コンプライアンス事案は多岐にわたることから、継続的にリマインドする必要があります。コンプライアンスの理解・浸透をチェックするアンケート等の意識調査から生徒の現状を把握することも、【コンプライアンス事象から生徒を守る】ために必要かと考えます。

※在学中において法令遵守に関する事案等例に機会を設け指導する。この際、一過性に陥ることなく継続的な指導に心掛ける。

- ・コンプライアンスに関しては申し分ない。

#### 特記事項

- ・法令・設置基準並びに自己評価の公開等は、適切に実施され遵守されている。

### 5. その他

- ・学校評価アンケートは良いコメントしかありませんが改善余地のあるコメントは無いのでしょうか。

※アンケートのコメントは、原文そのままを転記しております。改善意見と捉える意見として「保護者にもっと学校へ行く機会（参加できる機会）がもっとあれば良かったなと思います。原文」がございます。改善策としては、授業参観とまでいかなくとも、進路説明会などの機会を模索していきたい。

### 6. 学校関係者評価総括

令和2年度においては新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、文書による意見聴取といたしましたが、これまでの開催と同様に細部にわたり多くの建設的な、ご意見・ご助言等を賜り感謝申し上げます。今回頂戴いたしましたご助言等を今後のより良い学校づくりに活かし、自己点検評価が真に役立つものとなるよう職員一同、引き続き取り組んでまいります。